

日本医療教授システム学会(JSISH)
2014 年度第2回理事会議事録

開催日時:2014 年 12 月 18 日(木)15:00~17:00

開催場所:株式会社篠原出版新社 会議室

出席者:池上敬一(代表理事)、木村昭夫(副代表理事)、井田雅祥、大西弘高、
織井優貴子、鈴木克明、中村丈洋(以上理事)、松木蘭和也(事務局長)、
高橋誠治、長坂 浩(以上監事)、井上まゆみ、氏家康子、仁田尾慶太
(以上事務局)

欠席者:石松伸一(副代表理事)、浅香えみ子、岩本由美、奥寺 敬、喜多敏博、
軍神正隆、澤 智博、高村昭輝、武田 聡、中島和江、三上剛人(以上理事)

会則 11 条 2 項により、池上代表理事を議長として開会した。

1. 議事録署名人の選出

高橋誠治監事、長坂 浩監事が選出された。

2. 論文の不正投稿について

大西編集委員長より、東京女子医科大学の佐藤紀子先生より編集委員会宛に、医療職の能力開発 2013 年 4 月号 vol.2(1)に掲載されている「手術室チームを対象とした体外循環クロストレーニングの試みーシミュレータ教育における新しい手法」について不正投稿ではないかと指摘があったと報告があり、編集委員会から以下の提案がなされ、審議の結果、以下のように進めて行くこととなった。

1)倫理委員会の立ち上げ

(1)委員長:中村丈洋

(2)委員:浅香えみ子、井田雅祥、大西弘高、織井優貴子

(3)外部委員:佐藤雄一郎(東京学芸大学)

2)該当者に対する調査・ヒアリング(状況に応じて、論文取り下げの勧告を行う)

3)投稿規定の改定

4)次回理事会で調査結果レポート提出、再審議

3. デザイン研究の普及について

鈴木理事より、若手教員の研究会に参加した際、デザイン研究が実施困難な状況であるという意見が多数あったと報告があり、デザイン研究について学会側でサポートできないかと提案がなされ、審議の結果、まずは現場で困っている方がいた場合、その状況についてヒアリングしデータベース化する一方で、各々でサポートするような活動をしていくこと、3 月の総会時には会員に対してプレアピールをすることとなった。

4. 活動員設置について

池上代表理事より提案、説明があり、審議の結果、以下のように進めて行くこととなった。

1)委員会規則に評議員、活動員という名称が混在しているため修正

2)活動員という名称を再考

3)3月理事会またはメールにて再度審議

5. 支部会報告について

池上代表理事、中村理事より以下の報告があった。

1) 中国・四国支部

- (1) 2012 年秋に立ち上げ
- (2) 理事制を導入、理事会の開催
- (3) 2015 年 8 月 2 日に FD& 第 3 回目の理事会を開催予定

2) 中部支部

- (1) 未活動

3) 沖縄支部

- (1) 2014 年 6 月に研究会を実施
- (2) 2015 年 3 月に病院のパフォーマンスを上げるために人材育成を担当する人たち向けのセミナーを開催する予定

6. 第 7 回総会準備状況について

鈴木会長より、第 7 回総会の準備状況について以下の報告があった。

- 1) 会期: 2015 年 3 月 5 日(木)~3 月 6 日(土) ※7 日(土)併設セミナー
- 2) 会場: 東京大学 本郷キャンパス 医学部総合中央館
- 3) 演題登録状況: 55 題
- 4) 一般演題を廃止し、事例検討、ポスターを公募

7. プログラム委員会の設置と委員長推薦について

池上代表理事より、プログラム委員会設置に関する提案、説明があり、審議の結果、以下の通り承認された。

1) プログラム委員会の役割

- (1) 大会長を補佐し、総会プログラム策定と調整、総会の準備
- (2) 総会の準備として学会の事業の運営を企画し助言
- (3) JJHPD の投稿論文執筆を支援
- (4) 総会の準備として学会の事業の運営を企画し助言

2) 委員長に紙谷あゆ美会員(済生会横浜東部病院看護部)を推薦、承認

8. 第 8 回総会の大会長の推薦について

池上代表理事より、日本シミュレーション医療教育学会でも活躍されている阿部幸恵会員(東京医科大学病院)を推薦したいと提案があり、審議の結果、承認された。

9. 委員会報告について

1) 編集委員会／大西委員長

- (1) 投稿件数は増えつつあり、ひと月に 1 件あるかないかという状況
- (2) 初期は篠原出版新社で査読依頼をしていたが、東京大学で査読依頼を行うようになり、作業スピードが改善された。

2) 教授システム開発委員会／鈴木委員長

- (1) 事例研究会を 2 か月に 1 度開催

- (2)事例研究会を開催しない月はグリーンブックを読むという会を実施
- 3)教育・トレーニング委員会／木村委員長
 - (1)特に問題が起きていないため未活動

10. 日本シミュレーション医療教育学会との連携について

池上代表理事より、日本シミュレーション医療教育学会との共催事業について以下の報告があった。

- 1)研究会:第1回インストラクショナル・シミュレーション研究会
- 2)日 時:2014年11月30日(日)10:00~16:00
- 3)会 場:東京医科大学病院
- 4)参加者:約36名
- 5)次 回:2015年6月に自治医科大学で開催予定

11. 資格制度について

池上代表理事より、医療者教育認定インストラクター制度(Certified Healthcare Performance Instructor, CHPI)案について提案、説明があり、審議の結果、継続審議となった。

織井理事より、看護の分野の場合、卒後教育というと大学院教育という意味として捉えられ、医学教育の分野での卒後教育は継続教育という言葉が定着していると指摘があり、更新依頼がなされた。

12. プロジェクトチームについて

池上代表理事より、以下のプロジェクトの進捗状況が報告された。

- 1)看護師スタートアップ支援
 - (1)代表者:佐伯街子会員
 - (2)進 捗:看護学生が国家試験をクリアするためのストーリー型の教材が1本出来上がった。
- 2)多職種連携・IPEプログラム
 - (1)代表者:孫 大輔会員
 - (2)進 捗:論文を書ける段階

13. セミナー収支について

池上代表理事より、2014年に開催されたセミナー(KIDUKI コースやグリーンブック勉強会等)の収支について、収入:3,218,500円、支出:2,129,938円と報告があり、収支差額の1,088,562円については、学会に送金すると説明がなされた。

14. 医療関連団体・学会との連携について

池上代表理事より、以下の団体や学会との連携について、報告があった。

- 1)日本学術会議:これから申請を開始
- 2)日本看護協会:申請済み、結果待ち
- 3)日本臨床救急医学会:奥寺理事に打診予定
- 4)日本救急医学会:奥寺理事に打診予定
- 5)日本プライマリ・ケア連合学会:大西理事、高村理事に打診

15. 顧問の廃止について

池上代表理事より、顧問の廃止について提案、説明があり、審議の結果、顧問という名称から名誉会員という名称に変更するよう会則を変更し3月の理事会で再度審議することとなった。

16. 新理事の推薦について

池上代表理事より、日本シミュレーション医療教育学会との連携を強化するため、新理事として阿部幸恵会員(東京医科大学病院)の推薦があり、審議の結果、承認された。

17. その他

1)鈴木理事より、委員会が増えてきたので、組織図を作成してはどうかと提案があり、作成することとなった。

2)織井理事より、東北地区でISD研修会を開催したい場合どのように運営するかが確認され、学会からの補助は無く、支部(主催者側)の中で完結してもらう事が確認された。また、地域支部支援委員会が支部立ち上げのサポートを行う事が確認された。

以上

2014年12月18日